⑵　外国為替資金特別会計（別表３参照）

外国為替資金の収支は、1,839億円の受取超過であって、前年同期（169億円の受取超過）に比べ、1,671億円受取超過額が増加した。収入は、前年同期（1,490億円）に比べ、3,875億円増加して5,365億円となった。一方、支出は、前年同期（1,321億円）に比べ、2,204億円増加して3,526億円となった。

⑶　その他の特別会計等

その他の特別会計等の収支のうち、主な項目についてみると次のとおりである。

社会資本整備事業の収支は、収入2,387億円、支出１兆2,782億円、差引き１兆395億円の支払超過であって、前年同期（7,508億円の支払超過）に比べ、2,887億円支払超過額が増加した。

保険の収支は、収入８兆3,510億円、支出17兆2,459億円、差引き８兆8,949億円の支払超過であって、前年同期（８兆4,634億円の支払超過）に比べ、4,314億円支払超過額が増加した。

3　国債等・国庫短期証券等

△印は支払超過（単位　億円）

区分	平成23年度第１・四半期			前年同期		
	発行(借入)	償還	差引き	発行(借入)	償還	差引き
国債等	308,140	182,966	125,174	302,295	137,265	165,030
国債(１年超)	307,588	182,633	124,955	301,720	136,909	164,812
借入金	552	333	219	575	356	219
国庫短期証券等	999,528	942,641	56,887	1,032,619	994,152	38,467
国庫短期証券	884,028	832,641	51,387	912,619	880,152	32,467
一時借入金	115,500	110,000	5,500	120,000	114,000	6,000

国債等及び国庫短期証券等の発行（借入）・償還状況は、上表のとおりである。

国債等の収支は、12兆5,174億円の受取超過であって、前年同期（16兆5,030億円の受取超過）に比べ、３兆9,856億円受取超過額が減少した。国債（１年超）の収支は、発行30兆7,588億円、償還18兆2,633億円、差引き12兆4,955億円の受取超過であった。借入金の収支は、借入552億円、償還333億円、差引き219億円の受取超過であった。

国庫短期証券等の収支は、５兆6,887億円の受取超過であって、前年同期（３兆8,467億円の受取超過）に比べ、１兆8,420億円受取超過額が増加した。国庫短期証券の収支は、発行88兆4,028億円、償還83兆2,641億円、差引き５兆1,387億円の受取超過であった。一時借入金の収支は、借入11兆5,500億円、償還11兆円、差引き5,500億円の受取超過であった。

（参考）　実質収支

上で述べた財政資金対民間収支は、各会計等と民間との間における収入支出（窓口収支）のみをとらえたものであるが、各会計等の収支の実態をみるため、これに各会計等相互間の収支（国庫内振替収支）を加えた実質収支を示すと、次のとおりである。

△印は支払超過（単位　億円）

区分	窓口収支 (A)	国庫内振替収支 (B)	計（実質収支） (A)＋(B)
一般会計	△ 64,910	△ 67,250	△ 132,161
特別会計等	△ 101,141	△ 5,679	△ 106,820
財政投融資	1,810	△ 23,687	△ 21,877
社会資本整備事業	△ 10,395	3,753	△ 6,642
外国為替資金	1,839	7,619	9,459
保険	△ 88,949	93,459	4,511
その他	△ 5,447	△ 86,823	△ 92,270
小計	△ 166,051	△ 72,929	△ 238,980
国債等	125,174	△ 8,338	116,836
国債（１年超）	124,955	△ 7,999	116,956
借入金	219	△ 339	△ 120
国庫短期証券等	56,887	81,268	138,155
国庫短期証券	51,387	90,988	142,375
一時借入金	5,500	△ 9,720	△ 4,220
合計	16,010	—	16,010
調整項目	△ 2,506	—	△ 2,506
総計	13,504	—	13,504

第２　国庫対日銀収支（別表４及び別表６参照）

△印は支払超過（単位　億円）

区分	平成23年度第１・四半期	前年同期
国庫短期証券の発行・償還(△)	△ 15,457	△ 64,622
特別会計の債券売・買(△)	30,923	28,688
財政投融資	28,380	△ 26,280
国債整理基金	2,543	54,968
その他	△ 40,774	△ 15,490
計	△ 25,308	△ 51,424

期中における国庫対日銀収支（＊５）は、上表のとおり、２兆5,308億円の支払超過であって、前年同期（５兆1,424億円の支払超過）に比べ、２兆6,116億円支払超過額が減少した。

その内容についてみると次のとおりである。

1　国庫短期証券の発行・償還

国庫短期証券の発行・償還による日本銀行との間の資金調達・資金返済状況をみると、資金調達４兆5,683億円、資金返済６兆1,140億円、差引き１兆5,457億円の支払超過であって、前年同期（６兆4,622億円の支払超過）に比べ、４兆9,165億円支払超過額が減少した。

2　特別会計の債券売・買

特別会計と日本銀行との間の債券売買の状況をみると、３兆923億円の受取超過であって、前年同期（２兆8,688億円の受取超過）に比べ、2,235億円受取超過額が増加した。財政投融資は、前年同期の２兆6,280億円の支払超過から、２兆8,380億円の受取超過となった。国債整理基金は、2,543億円の受取超過であって、前年同期（５兆4,968億円の受取超過）に比べ、５兆2,425億円受取超過額が減少した。

3　その他

国庫と日本銀行との間の経常収支は、４兆774億円の支払超過であって、前年同期（１兆5,490億円の支払超過）に比べ、２兆5,284億円支払超過額が増加した。

第３　政府預金（別表５及び別表６参照）

財政資金対民間収支（１兆3,504億円の受取超過）から政府預金（＊６）の増減に関係のない調整項目（2,506億円の支払超過）を除いた収支は、１兆6,010億円の受取超過であった。また、国庫対日銀収支は、２兆5,308億円の支払超過であった。その結果、政府預金の期末残高は、前期末（２兆3,581億円）に比べ、9,297億円減少して１兆4,283億円となった。